

パナマ運河から荒川放水路へ

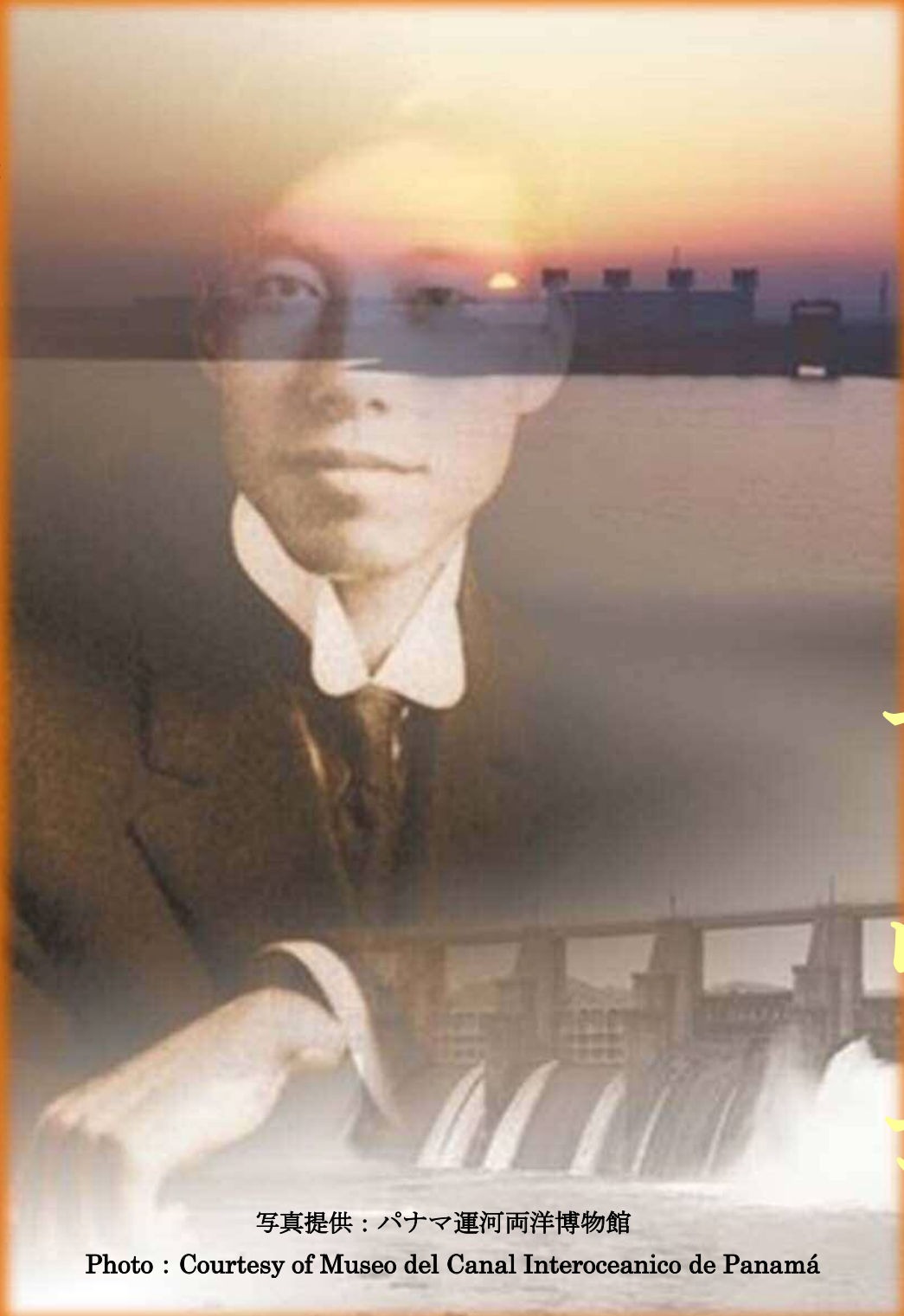
アラボラ講座 シリーズ 23

Del Canal de Panamá al Canal de alivio de inundaciones del Arakawa

駐日パナマ共和国大使館 公認講座



パナマ共和国紋章



民衆のために尽くした土木技師

青山士

日本人でただ一人

パナマ運河工事に参加

写真提供：パナマ運河両洋博物館

Photo : Courtesy of Museo del Canal Interoceanico de Panamá

協力：国土交通省 荒川下流河川事務所

新たな視点で学ぶ運河の土木史と青山士

【2012年開講】

第1話: 11/28 (日) 11:00~13:00

スエズ運河はこうして始まった

土木が文明を生み文明が世界に運河を生んだ。エジプトの古代ナイル運河はスエズ運河を生んだ。フランスの元外交官ドゥ・レセップスがスエズ運河を開通させ、地中海と紅海がつながり世界の新たな歴史が始まった。

それはやがて次の運河への助走路となった。



第2話: 12/19 (日) 11:00~13:00

第2のスエズ運河をパナマ地峡に建設しよう

人類に残されたもう一つの夢それはパナマに太平洋と大西をつなぐ運河を建設することだった。

しかし、そこは亜熱帯ジャングルであらゆる自然の危険と脅威が待ち構えておりレセップスの行く手を阻んだ。



第3話: 1/23 (日) 11:00~13:00

アメリカのパナマ運河

アメリカはスペインとの戦争で中米に運河がぜひ必要であると思知らされた。

アメリカが動き出した時、青山士は内村鑑三と廣井勇という2人の師に魂を与えられ20世紀で最も重要な土木工事に参加する。



第4話: 2/27 (日) 11:00~13:00

パナマ運河をつくったのはルーズベルト大統領だ

レセップスの工事の失敗を教訓としてアメリカがパナマ運河建設を始めたが、アメリカもまた困難に直面し世界が注視する。一時は不可能とまで言われたが、最新の土木技術力と大統領の決断がパナマ運河を完成に導いた。

そこにただ一人の日本人土木技師として活躍した青山士の姿があった。



第5話: 3/13 (日) 11:00~13:00

荒川放水路工事と荒川下流域治水の風景

東京を水害から守ってきた荒川放水路。その要になった(旧)岩淵水門。

その建設工事の最高責任者としてアメリカでの知識と経験を基に陣頭指揮し19年の歳月を経て完成した工事の中、青山士の頭の中には「世の中を少しでもよくして去りたい」という思いがあったに違いない。



第6話: 4/25 (月) 12:00~15:00 (予定)

荒川の治水を学ぶ

災害対策支援船“あらかわ号”に乗船し、荒川の治水の現場を体験する。

*大雨・強風・災害対応時は中止



講師・企画 清水弘幸

青山士とパナマ運河研究者・土木学会正会員
荒川知水資料館委嘱ボランティア



受講案内 [第1話~第5話は申込不要です]

会場: 荒川知水資料館3F(北区志茂5-41-1)

対象: 18歳以上(高校生不可)でアンケート記入にご協力いただける方

※乳幼児同伴での受講はできません

定員: 20名(先着順) ※第6話のみ17名

受講料: 無料(荒川知水資料館への入館も無料)

※第5話の受講後、会場にて第6話の乗船申し込み及び抽選を行います。

諸注意

荒天や自然災害、地域における新型コロナウイルス感染状況等により休講または開講日を変更させていただく場合がございます。その場合は荒川知水資料館ホームページと、荒川下流河川事務所ツイッターでお知らせします。



協力: 荒川下流河川事務所

問い合わせ先: 荒川知水資料館 TEL:03-3902-2271